

『ふくしま市6次産業化推進戦略概要』【期間:R3~R7】

テーマ かたちを変えて ふくしまの“美味しい”を みなさんへ

本市が6次化による農業経営を強化するため、農業者の農業資源を活用した加工やサービスへの取組み支援をおこなうほか、農業者と他産業との連携により新たな価値を創出し、農業者だけでなく意欲ある6次産業参加者の経営力向上を目指す。

| 戦 略 | 施 策 | 事 業(新規:◎、拡充:○、連携:☆、通年◆) | 指 標 | |
|--------------------|--|---|---|---|
| 1 商品・サービス 開発の支援 | (1) 加工施設に関する情報の収集と発信 | ①商品開発に必要な加工施設の貸し出し ②加工製造が可能な農業者や加工が可能な業者に関する情報収集 ③6次化に取り組む農業者等への情報発信 | ◆加工施設の情報発信 ☆食品加工産業創出事業(産業雇用政策課) | 市産農産物を使用した 年間商品開発支援数 【現状:10件 → 目標:15件】 |
| | (2) 食品加工産業創出の支援 【庁内連携の構築】 | ①対象者 本市農産物を活用した商品開発をおこなう中小企業者等 ②事業内容 商品開発に対して、開発に要する経費の一部を補助 ③効 果 付加価値の高いものづくりや新たな事業の創出 | ◆各種補助制度等の情報発信 ○四季の里農産加工館の拡充 | |
| | (3) 関係機関・団体等による各種補助制度 の活用促進 | ①商品開発(ソフト面)及び施設整備(ハード面)に対する補助制度の活用促進 ②金融機関等からの円滑な資金調達のための支援 ③各種制度の情報を収集し、6次化に取り組む農業者等へ発信 | ◎テストマーケティングの場の提供(道の駅整備室) ☆福島型給食推進事業(教育施設整備課) | |
| | (4) 四季の里農産加工館産品開発室の活用 による試作・開発機会の提供 | ①四季の里農産加工館産品開発室の機能の拡充・充実 ②利用者等を対象とした研修会の開催 | | |
| | (5) テストマーケティングの場の提供 | ①対象者 6次化に取り組む農業者等 ②事業内容 消費者ニーズを把握するテストマーケティングの場の提供 ③効 果 効果的な商品づくりの支援、対面販売による販売者の商品PR力の向上 ④提供場所 (仮)道の駅ふくしま等 | | |
| | (6) 市内の教育機関等との連携【庁内連携 の構築】 | ①地元食材の活用促進や商品の共同開発等の取組み支援 ②市内小・中学校等を対象とする福島型給食推進事業の実施 ③学校給食での伝統的な郷土食提供の実施等 | | |
| 2 販路確保の支援 | (1) スイーツ・プレミアム認証制度による支 援【庁内連携の構築】 | ①事業内容 「ふくしまスイーツ・プレミアム商品」として認証 ②認証対象 市内農作物等を活用した魅力あるスイーツ ③効 果 商品の付加価値を高めることにより、情報発信効果の増加に寄与 | ☆スイーツ・プレミアム事業(産業雇用政策課) ◆地域商談会・交流会の開催 | 地域商談会・交流会 年間参加者数 (農業者・事業者等) 【現状:32人 → 目標:50人】 |
| | (2) 地域商談会・交流会の開催 | ①対象者 6次化に取り組む農業者や事業者等と市内の飲食店、ホテル・旅館、流通・販売業者等 ②効 果 マッチングの機会を創出、地元における販路拡大の支援 | ◆わくろく発信プロジェクト事業 ☆福島市観光コンベンション協会等との連携 | |
| | (3) ネットワークを活用した情報発信 | ①本市ホームページにより発信の「わくろく発信プロジェクト」の活用及び周知 ②新たに開発された商品情報の収集 ③飲食店、ホテル・旅館、流通業者などへの情報提供 ④観光コンベンション協会など関係団体との連携やふるさと納税の活用 ⑤市内外での観光物産イベントや各種コンテスト・コンクール等を活用した、6次化商品の販売やPR活動の支援 | ☆ふるさと納税の活用(政策調整課) ◆観光物産イベント等への出店支援 ◎コンテスト・コンクール等の情報発信 ◎(仮)道の駅ふくしま等での販売(道の駅整備室) ◎包括連携協定企業等との連携支援 | |
| | (4) 新規販売機会の創出 | ①自店舗を持つ事業者等は「アンテナショップ」 ②自店舗を持たない農業者等は新規販路 ※①、②とも(仮)道の駅ふくしま等を活用した販売機会の創出 | | |
| | (5) 包括連携協定企業等との連携 | 包括連携協定企業、連携企業との関係性を活かし、商品開発やイベント等で販売機会を支援 | | |
| 3 人材育成の支援 | (1) 「ふくしま市6次化アドバイザー」の設置 | ①農業者等に対する専門的な視点からの助言・指導 ②アドバイザーを活用した研修会等を開催し、6次化に関する知識の習得を支援する。 | ◆「ふくしま市6次化アドバイザー」の設置 ◆学習会、交流会の開催 | 学習会等 年間参加者数 (農業者・事業者等) 【現状:64人 → 目標:100人】 |
| | (2) 学習会等の開催 | ①対象者 農業者、製造・加工業者、流通・販売業者、飲食店・旅館等 ②効 果 農業者及び他産業者とのネットワーク形成の支援 | | |
| 4 推進体制の拡充 | (1) 「ふくしま市6次産業化推進 協議会」による施策の推進 | ①目 的 本市農産資源を利用した魅力ある6次化商品の研究開発と機会の創出 ②委員数 12名【男性8名 女性4名】 ③構成員 農業者・農業団体、商工団体、金融機関、製造・加工業者、流通・販売業者 学識経験者、行政機関等 | ◆ふくしま市6次産業化推進協議会の開催 ◆福島市6次化相談員業務委託 ○6次化実態調査 | 「実態調査データ」及び6次化相談者 における情報提供希望者 (農業者・事業者等)登録件数 【現状:263件 → 目標:400件】 |
| | (2) 福島市6次化相談員 による支援 | ①6次化に意欲ある農業者、団体・企業の発掘 ②現状課題の解決及び商品化・販路拡大までの相談支援 ③相談員利用者に対する6次化情報の提供 | | |
| | (3) 6次化に関する「実態調査データ」の活 用 | ①農業者を対象とした実態調査 ②実施希望者への情報発信 ③意欲のある人材や加工業者の情報の収集 | | |